



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

証券コード
2270

個人投資家様 会社説明会

2019年7月
雪印メグミルク株式会社



目次

1. 会社概要・沿革
2. 事業内容
3. 雪印メグミルクグループ 長期ビジョン
 - (1) グループ長期ビジョン2026・中期経営計画
 - (2) 2019年3月期の連結業績結果
 - (3) 2020年3月期の連結業績予想
4. CSR経営

1 会社概要・沿革

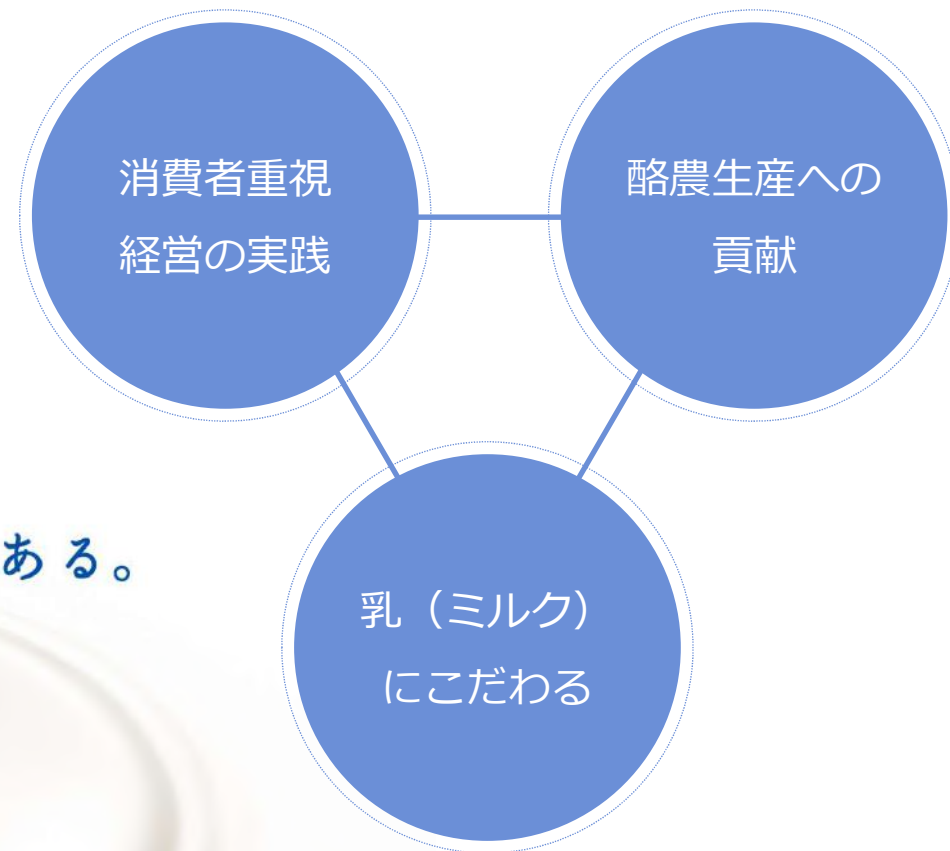


グループ企業理念 [1]

雪印メグミルクグループは、
3つの使命を果たし、
ミルクの新しい価値を創造すること
により、社会に貢献する企業であり
続けます。

「コーポレートスローガン」

未来は、ミルクの中にある。



グループ企業理念 [2]



コーポレート
シンボルマーク

会社概要

商号	雪印メグミルク株式会社 MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.
設立年月日	2009年（平成21年）10月1日
所在地	（本社）東京都新宿区四谷本塩町5番1号 （登記上本店）北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
資本金	200億円
従業員数	5,105名（連結、2019年3月31日）
上場取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
代表取締役社長	西尾 啓治

沿革 [1]

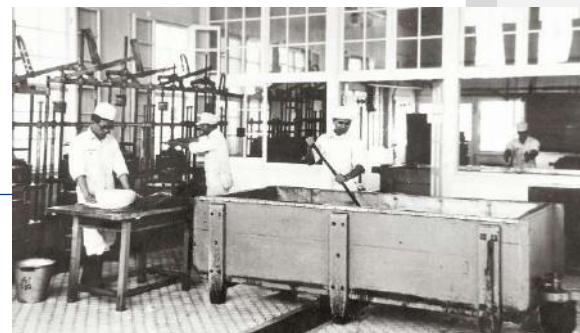
雪印メグミルクの歴史は 北海道バターから始まりました

創業と同時にバター製造を開始。集乳体制を整え、分離機の使い方から指導した。1926年(昭和元年)に近代的工場ができてからは、最高級品だけを「雪印北海道バター」として販売し、信頼を築いた。



日本で初めてチーズの 大規模製造を始めました

1928年(昭和3年)ごろからチーズの研究・試作、試験販売を始め、1932年(昭和7年)には工場を建設し製造をスタート。1934年(昭和9年)の発売直後から売り切れ続出の盛況で、またたく間に日本初の大規模チーズ専門工場となった。



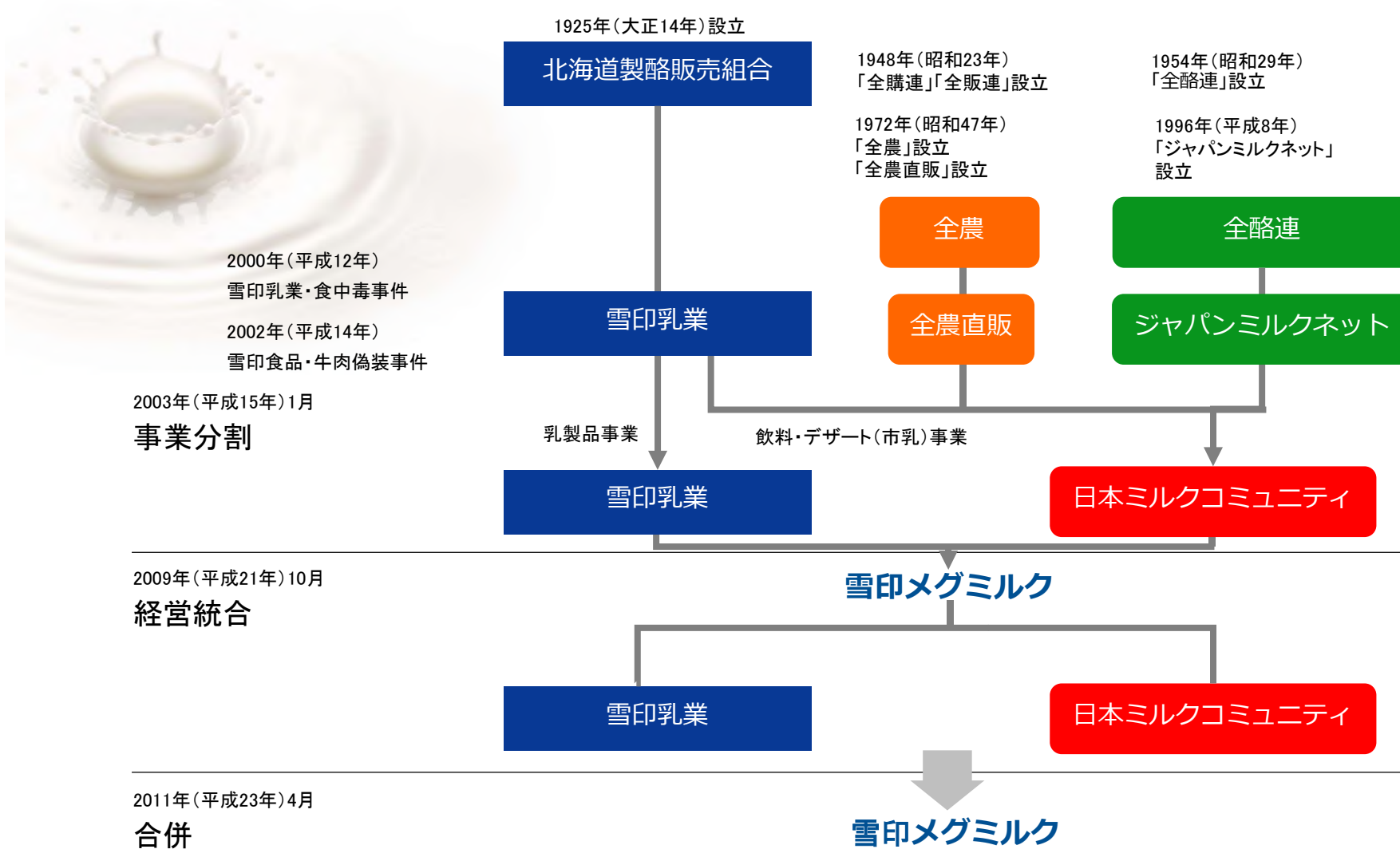
研究を通して、 ミルクの未来を拓いてきました

研究部門が設置されたのは1933年(昭和8年)のこと。加工技術や成分、乳酸菌の研究を行ってきた。その後、札幌研究所、技術研究所(現ミルクサイエンス研究所/埼玉県)、チーズ研究所(山梨県)を開設し、本格的な研究体制を整えた。



沿革 [2]

雪印メグミルク設立経緯



ガバナンスの取組み

1. 監査等委員会設置会社への移行

- ▶ 取締役会の監督機能の強化
- ▶ 業務執行の機動性向上

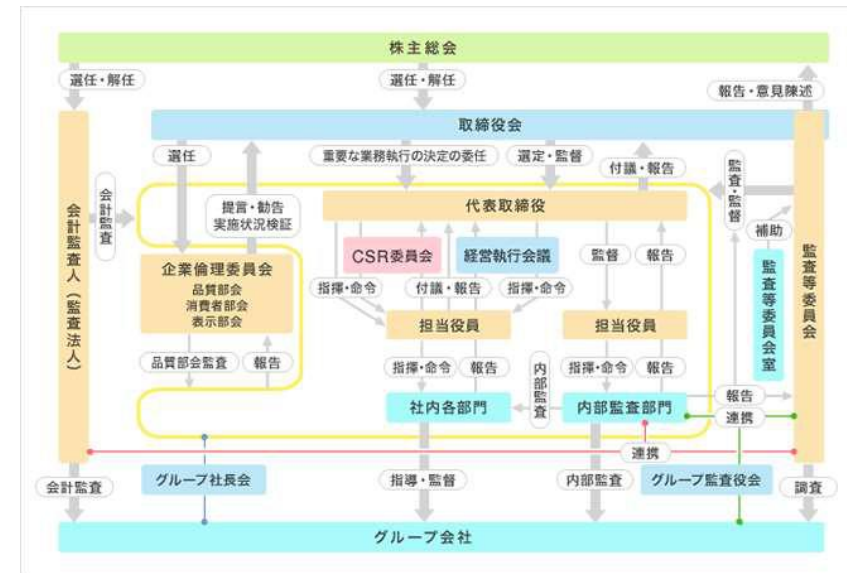
2. 「企業倫理委員会」の設置

- ▶ 取締役会の諮問機関 提言・勧告
- ▶ 社外の眼による検証

3. グループ^oCSR活動の推進

- ▶ CSR活動の全国展開
- ▶ 「食の責任を強く認識し、果たしていくことを誓う日の活動」の実施
- ▶ グループ全体でのコンプライアンス態勢の強化
- ▶ 雪印種苗の違反行為の反省からの再発防止策の完全実施するためにコンプライアンス体制を強化し、信頼回復に全力で取り組んでいきます。

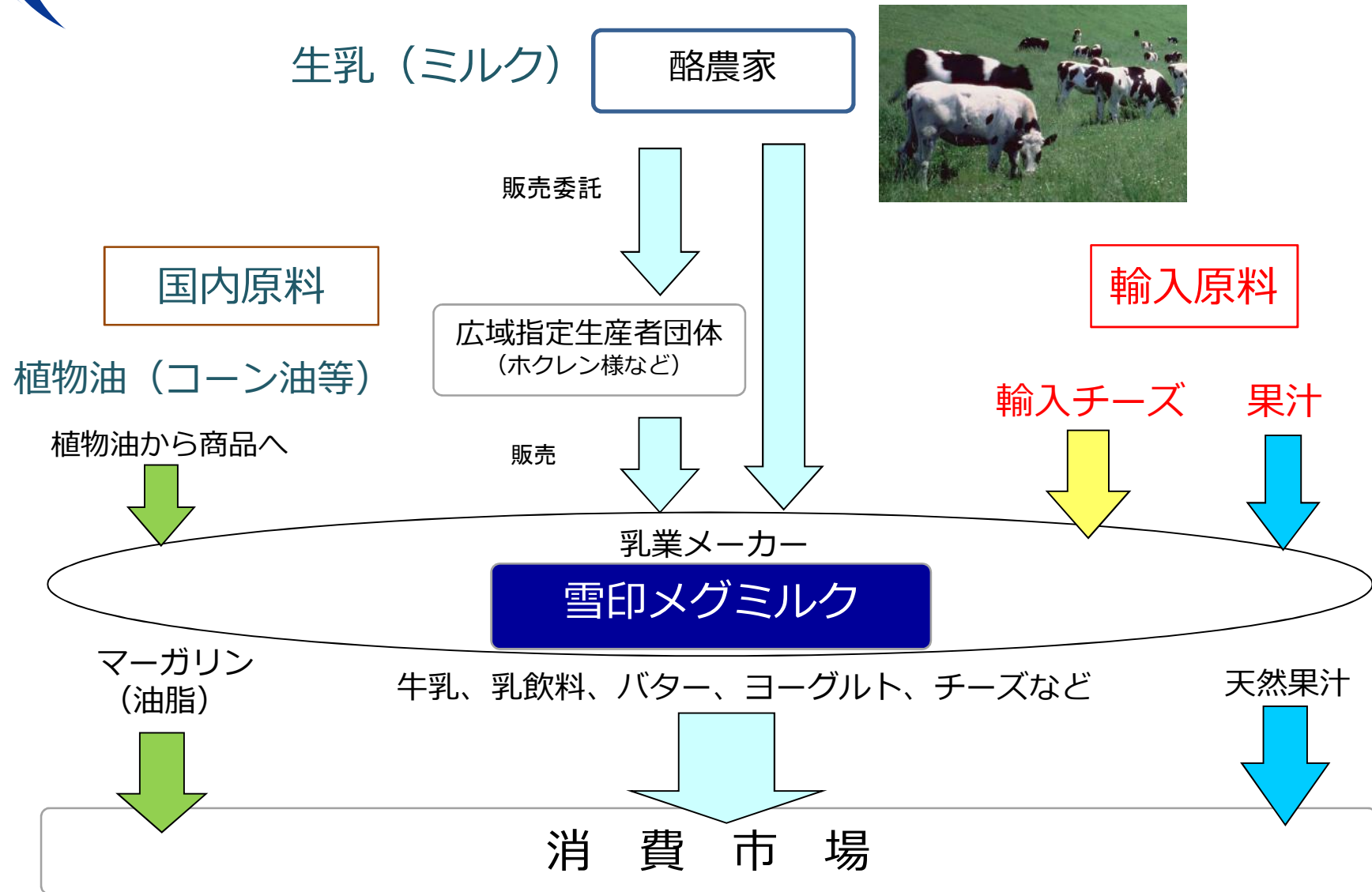
雪印メグミルク ガバナンス体制図



2 事業内容



事業のしくみ（概要）



事業分野

事業分野と概要



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルクグループ



乳製品

バター、油脂、
チーズ（国内・国外）、
その他乳製品 など



市乳

牛乳・乳飲料、ヨーグルト、
果汁・野菜・清涼飲料、
デザート など



ニュートリ
ション

粉ミルク（国内・海外）
機能性食品、栄養剤、
機能性素材 など



飼料・種苗

飼料、種子（牧草・飼料・
作物・野菜）・造園
肥育牛 など

事業内容

雪印メグミルク
甲南油脂
八ヶ岳乳業
エスアイシステム
チェスコ
雪印オーストラリア
アダーデライツオーストラリア
雪印メグミルクインドネシア
ニチラク機械
クレスコ など

雪印メグミルク
みちのくミルク
八ヶ岳乳業
いばらく乳業
エスアイシステム
三和流通産業
直販配送
グリーンサービス
クレスコ など

雪印ビーンスターク
雪印メグミルク
台湾雪印・雪印香港
雪印上海
雪印オーストラリア
イーエヌ大塚製薬
アミノアップ
ベルネージュダイレクト
など

雪印種苗
雪印種苗アメリカ
道東飼料
ロイヤルファーム
RFペンケル牧場
RF青森牧場 など

グループ 企業

YBS、雪印パーラー、雪印こどもの国牧場

セグメント（会計上の区分）

乳製品セグメント

乳製品 事業分野



ニュートリション 事業分野



飲料・デザート類セグメント

市乳 事業分野



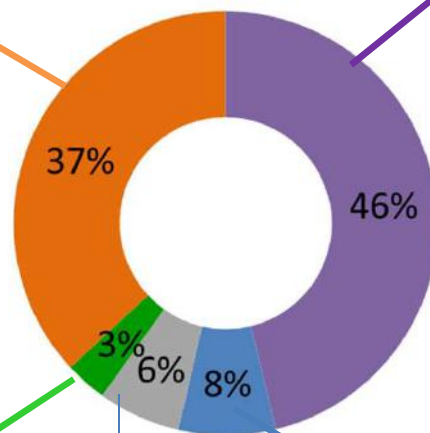
飼料・種苗セグメント

飼料・種苗 事業分野



事業分野の 売上構成比

2019年3月期決算数値



その他セグメント

乳製品事業分野 [1]



乳製品事業分野

- 創業と同時に製造を開始したバターをはじめ、チーズとマーガリンを中心とした事業分野。
特にチーズに関しては利益の柱であり、今後も成長が期待される市場。
- 多くのロングセラー商品を持ち、主要商品についてはトップシェア。

主な商品

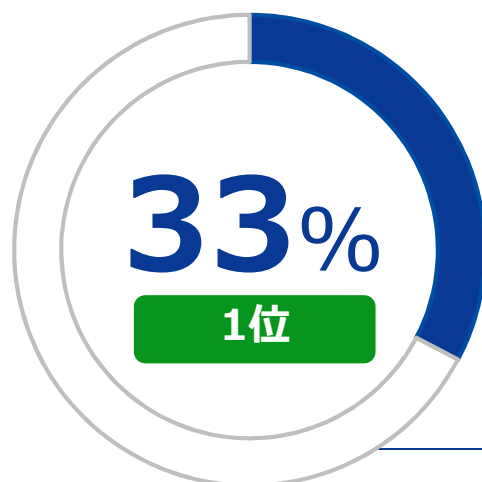
主な商品 バター、マーガリン、チーズ、練乳・スキムミルク など



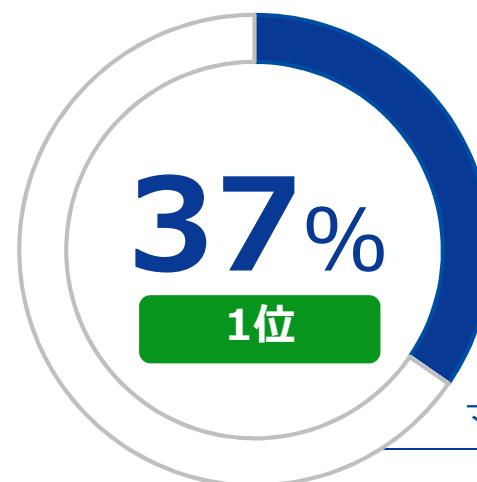
乳製品事業分野 [2]



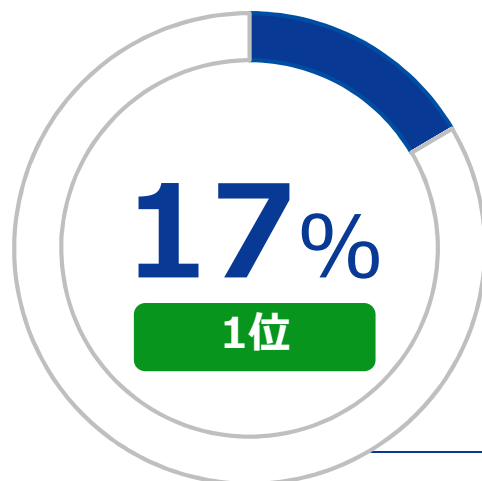
市場シェア (2019年3月期：家庭用、全国金額ベース)



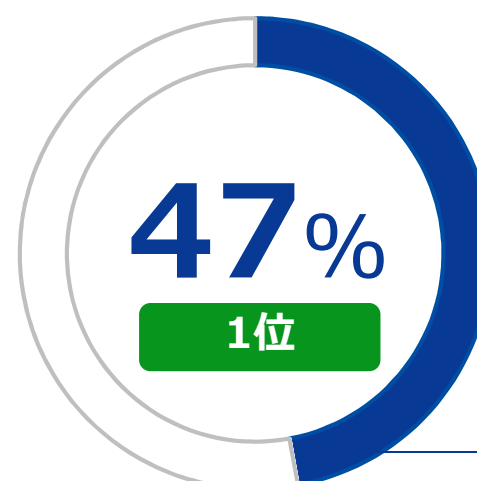
バター



マーガリン類



チーズ



スキムミルク

乳製品事業分野 [3]



事業所・グループ会社

幌延工場
 興部工場
 磯分内工場
 札幌研究所
 ミルクサイエンス研究所
 チーズ研究所
 八ヶ岳乳業
 チェスコ
 甲南油脂
 なかしべつ工場
 別海工場
 大樹工場
 阿見工場
 雪印メグミルク (本社)
 雪印メグミルクインドネシア (MSBI)
 アダーデライツオーストラリア
 雪印オーストラリア

● 雪印メグミルク 本社・工場
 ▲ 雪印メグミルク 研究所
 ■ 雪印メグミルク 関係会社

市乳事業分野 [1]



市乳事業分野

- 牛乳・乳飲料、ヨーグルト、果汁、デザートなどの事業分野。商品数が多く、日々食卓へ栄養と豊かさをお届けしている分野。
- 健康志向が高まるなか、「ガセリ菌SP株ヨーグルト」はドリンクタイプを中心として売上が伸長。今後もヨーグルトの成長を期待し、利益の柱へと育成を目指す。

主な商品

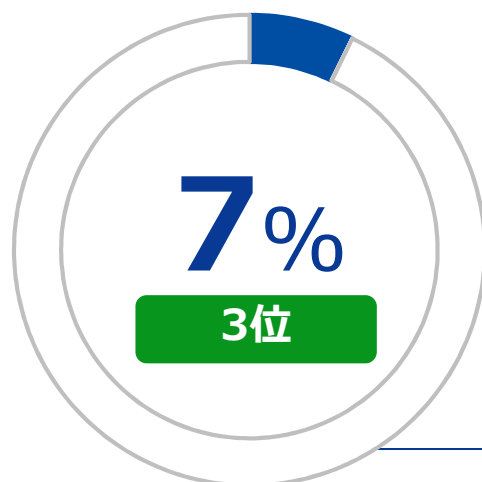
牛乳・乳飲料、ヨーグルト、果汁・野菜・清涼飲料、デザート など



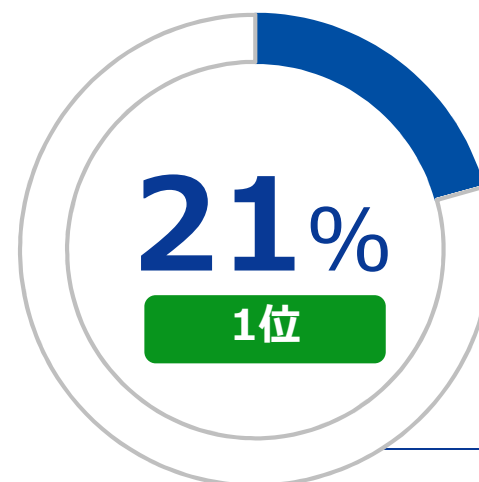
市乳事業分野 [2]



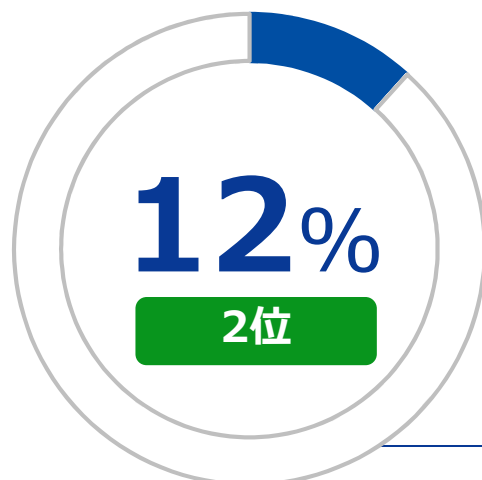
市場シェア (2019年3月期：家庭用全国、金額ベース)



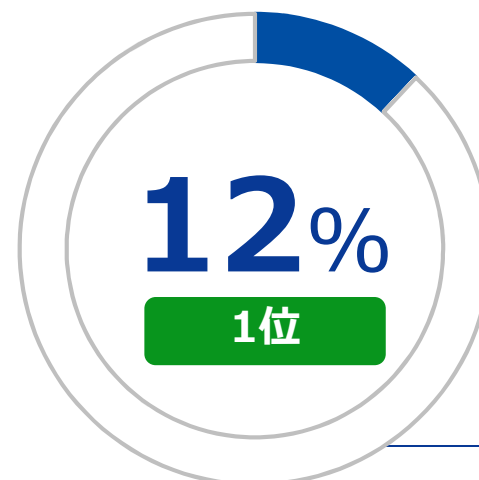
牛乳



乳飲料



ヨーグルト



デザート

市乳事業分野 [3]



事業所・グループ会社



札幌工場



京都工場



神戸工場

福岡工場

京都工場池上製造所

札幌研究所

ミルクサイエンス
研究所

川越工場

名古屋工場

豊橋工場

八ヶ岳乳業

雪印メグミルク
(本社)

いばらく乳業



みちのくミルク



野田工場



海老名工場



- 雪印メグミルク 本社・工場
- ▲ 雪印メグミルク 研究所
- 雪印メグミルク 関係会社

ニュートリション事業分野 [1]



ニュートリション事業分野

- 乳の持つ価値の研究成果を商品化した粉ミルクや機能性食品を中心とした事業分野。
機能性食品は、雪印メグミルクが骨の健康に役立つ成分として発見した、乳たんぱく質「MBP®」を配合した商品を中心に展開。
- 健康に対する関心の高まりと幅広い年齢層を対象とする当事業は、今後の成長が大きく期待できる事業。

主な商品

粉ミルク、機能性食品 など



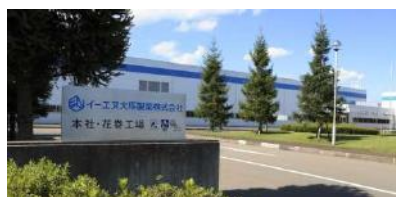
ニュートリション事業分野 [2]



事業所・グループ会社



アミノアップ



イーエヌ大塚製薬(本社・花巻工場・開発研究所)



イーエヌ大塚製薬(北上工場)

札幌研究所



ミルクサイエンス研究所

イーエヌ大塚製薬(東京本部)

ベルネージュダイレクト

雪印ビーンスターク(本社)



雪印ビーンスターク(群馬工場)



雪印オーストラリア



雪印貿易上海



台湾雪印



雪印香港

スノー・マーケティング

- 雪印ビーンスターク 本社・工場
- ▲ イーエヌ大塚製薬 本社・工場
- 雪印メグミルク 研究所
- ★ 雪印メグミルクグループ 関係会社



飼料・種苗事業分野

- 雪印種苗（株）を中心に、生乳生産や環境保全型農業の支援に向けて展開している事業分野。
- 飼料事業では、地域性に合わせた配合飼料などを全国に提供。種苗事業では、牧草の品種改良などに取り組み、数多くの優良品種を育成。

主な商品・サービス

飼料、種子（牧草・飼料作物・野菜）、造園 など



3

雪印メグミルクグループ 長期ビジョン&中期計画



- (1) グループ長期ビジョン2026・中期経営計画
- (2) 2019年3月期の連結業績結果
- (3) 2020年3月期の連結業績予想



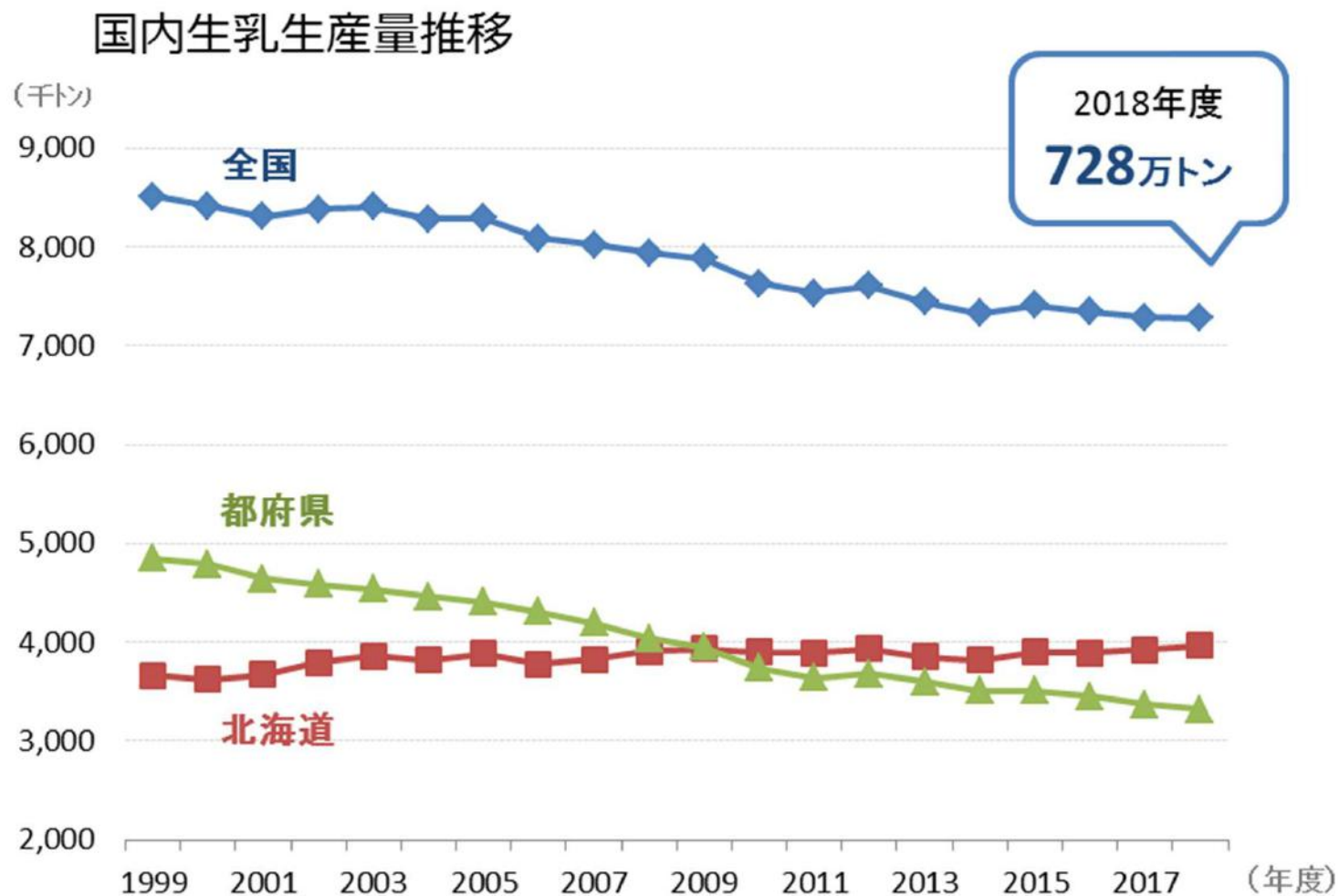


- (1) グループ長期ビジョン2026・中期経営計画**
- (2) 2019年3月期の連結業績結果**
- (3) 2020年3月期の連結業績予想**



環境認識 [国内生乳生産量]

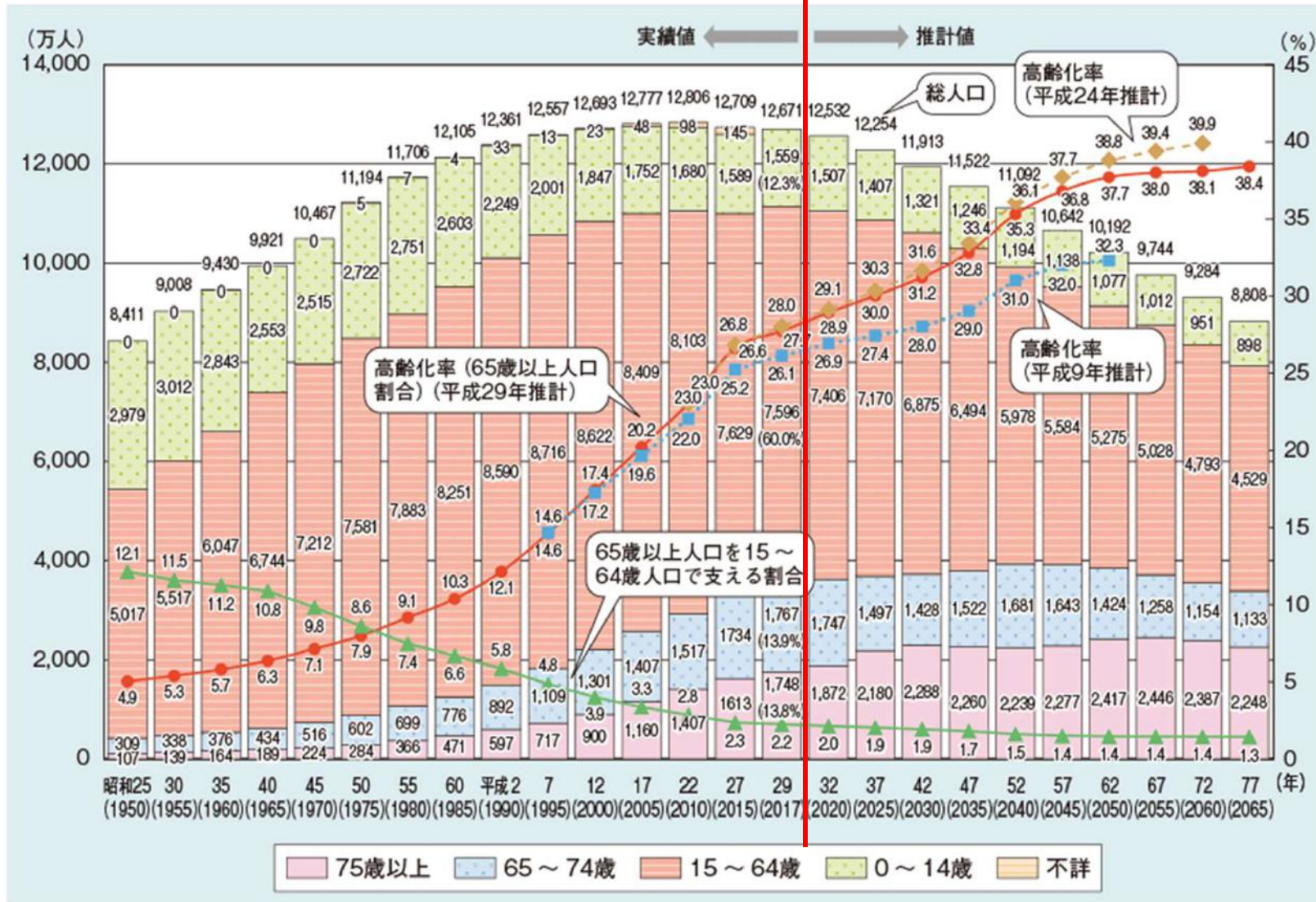
国内生乳生産量は減少傾向



資料:農林水産省「牛乳乳製品統計」(速報)

環境認識[国内の人口動態の推移]

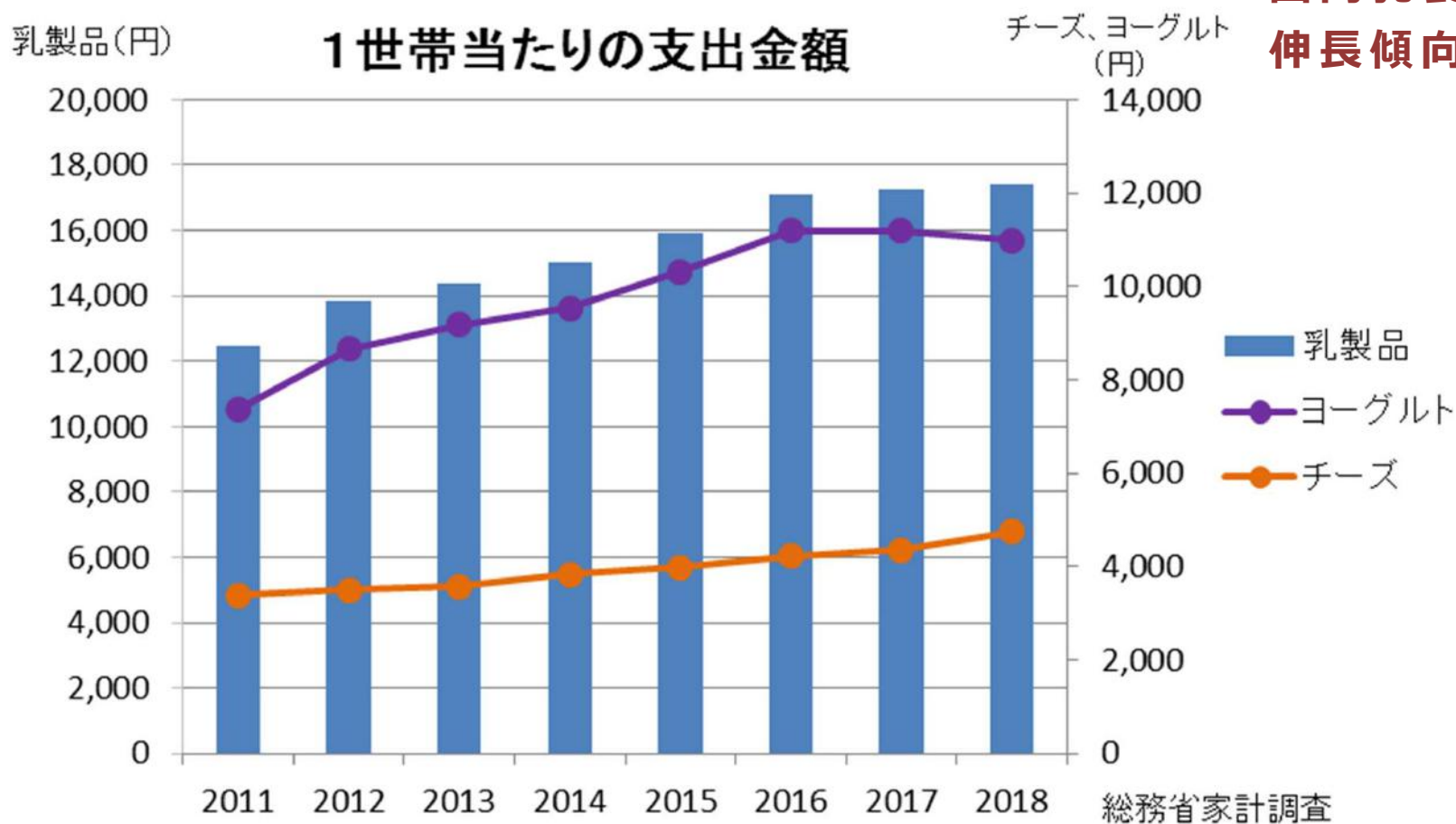
少子高齢化が進行、高齢化率が上昇



出典:内閣府「平成30年版高齢社会白書」

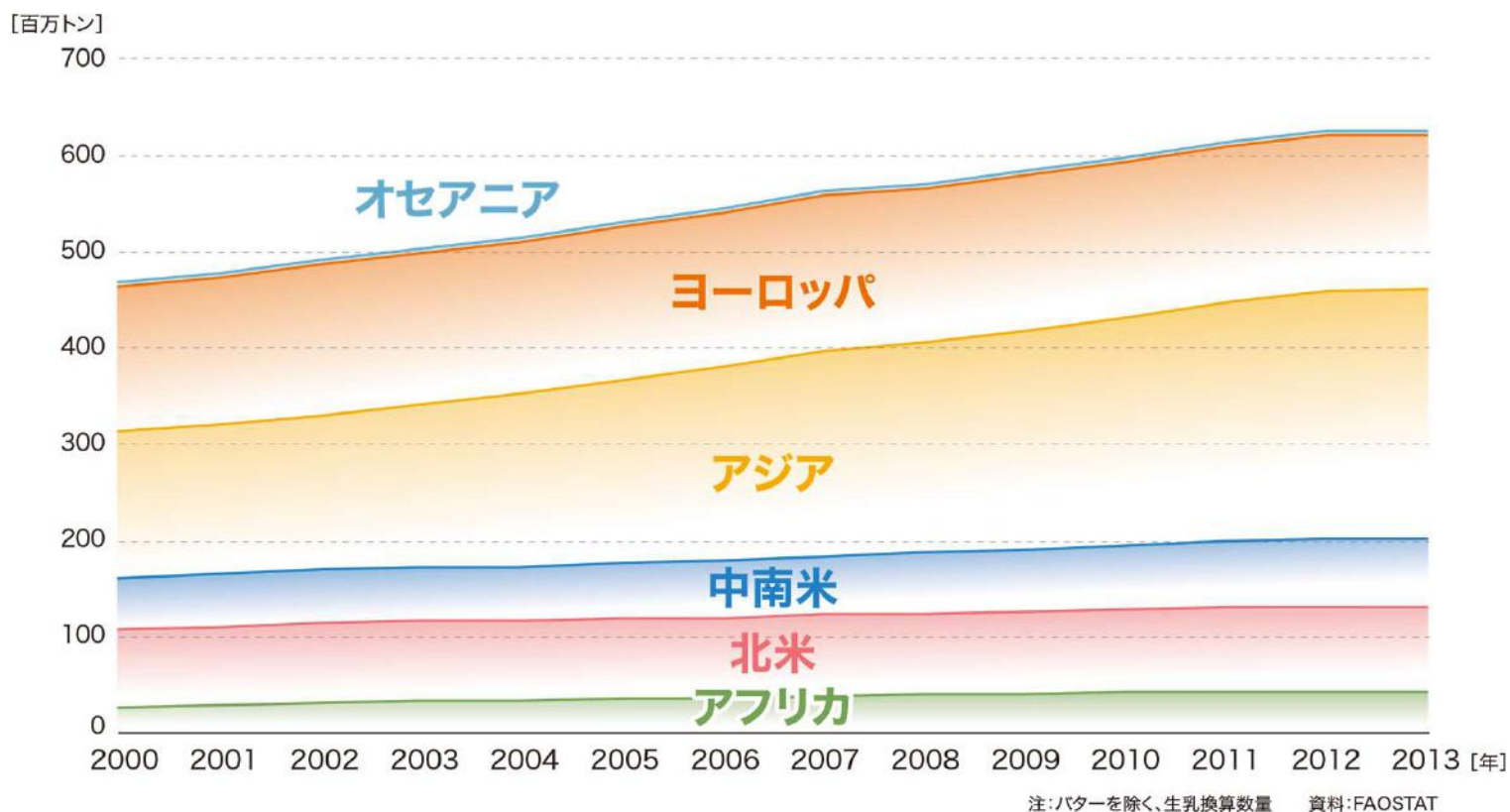
家計消費支出における乳製品支出動向

国内乳製品市場は
伸長傾向



環境認識 [乳製品の国際需要]

世界の乳製品消費量の動向



世界の乳製品消費量は拡大

「ミルク未来創造企業」 3つの未来



消費者

乳（ミルク）で食の未来を創造します。



酪農生産者

酪農生産者の未来に貢献します。



私たち

私たち社員の未来を拓きます。

Transformation & Renewal

「変革」、そして更なる「進化」へ



Transformation & Renewal

「変革」、そして更なる「進化」へ



事業ポートフォリオの変革

Transformation



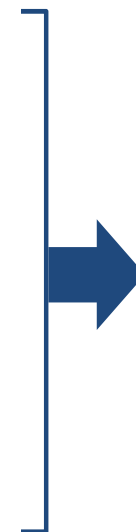
事業成長を支える生産体制の進化

Renewal



グループ経営の推進

Group Management



総投資額

3,000億円

4,000億円

グループ長期ビジョン2026 [基本戦略]

事業ポートフォリオ変革の方向性



バター、油脂、
チーズ (国内・海外)

**環境変化への対応と
収益基盤の強化**



牛乳・乳飲料、はっ酵乳、
果汁・野菜・清涼飲料、デザート

**収益基盤確保、成長を牽引
する事業への構造転換**



粉乳 (国内・海外)、機能性
食品 など

**新たな成長機会創出と
高収益事業への育成**



飼料、種子 (牧草・飼料作物
・野菜)、造園 など

**飼料事業効率化と
種苗の主力事業への成長**

グループ長期ビジョン2026 [基本戦略]

事業ポートフォリオ変革を支える戦略



**調達・生産体制構築
競争基盤の確保**



**研究開発起点の
「ものづくり」**



**働き方改革の推進
成長支える人材の育成**

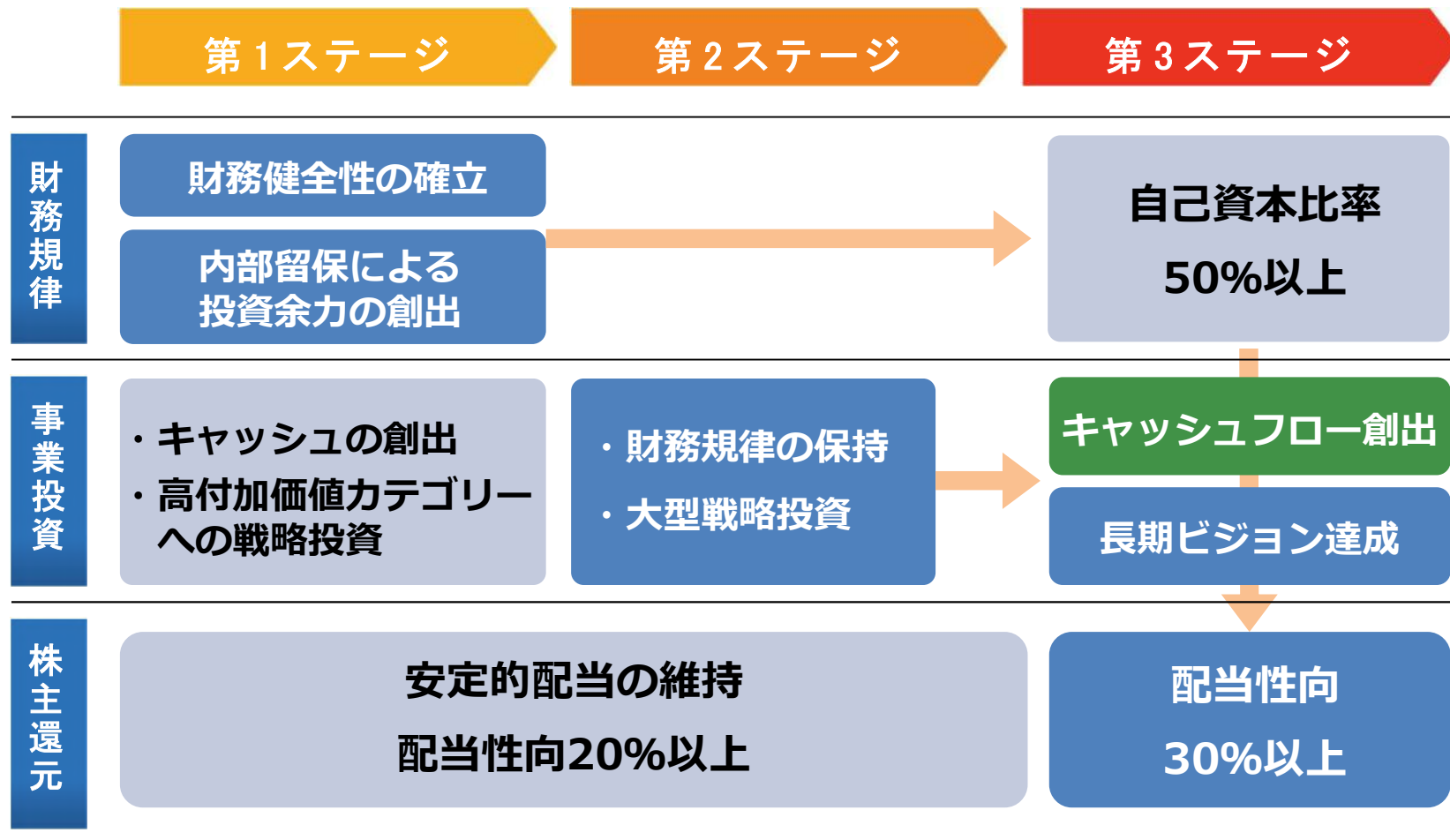


**グループ経営資源活用
競争力・総合力の最大化**

グループ長期ビジョン2026（ロードマップ）

中期経営計画			
	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
	2017～2019	2020～2022	2023～2026
位置付け	Transformation （変革）の始動 グループ経営の 始動・推進	Transformation （変革）の加速 グループ経営の 展開強化	Renewal （進化）へ グループ経営の 加速・進化
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・収益基盤の複数化 キャッシュフロー の最大化 ・生産体制進化への 着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・収益基盤の確立 ・生産体制進化の 本格始動 	<ul style="list-style-type: none"> ・4事業分野による 収益の安定的創出 ・調達・生産体制の 確立

キャッシュフロー配分方針



事業ポートフォリオ変革による収益基盤の強化 [1]

事業ポートフォリオ変革

～ グループ収益基盤の強化 ～



1. バターの安定供給とブランド強化
2. チーズのボーダレス展開による更なる成長



1. 機能性を軸としたヨーグルトの戦略的拡大
2. プロダクトミックスの最適化



1. 機能性食品事業の成長モデル構築
2. 価値訴求による粉乳事業の競争力強化



1. 種苗事業の戦略的拡大
2. 飼料事業の効率化による収益性向上

事業ポートフォリオ変革による収益基盤の強化 [2]



主力商品群強化による市場拡大

1 バターの安定供給とブランド強化



2 家庭用主力チーズの販売強化と生産体制強化

- 大樹工場インフラ整備
- 国産ナチュラルチーズ強化
(カマンベール・さけるチーズなど)
- プロセスチーズ主力商品拡大
(6P・ベビーチーズなど)



[大樹工場]

3 業務用チーズの新市場開拓

- スライス・ダイス・シュレッドチーズの拡販
- ソフトチーズの新商品投入





チーズのボーダレス展開による更なる成長

1 国産商品の輸出（家庭用・業務用）



2 海外生産・海外販売拡大

- 雪印メグミルク商品展開
- 海外拠点の活用

雪印メグミルクインドネシア

プロセスチーズ拡大



雪印オーストラリア

ナチュラルチーズ拡大



事業ポートフォリオ変革による収益基盤の強化 [4]



機能性ヨーグルトの戦略的拡大

1 生産能力の増強、供給体制強化 → 80億円設備投資

◇ ドリンク

海老名工場 + 京都工場 ライン新設

◇ ハード

海老名工場

◇ プレーン

海老名工場

◇ ソフト

協同乳業

2 商品ラインナップの拡大

3 マーケティング強化



ガセリ菌SP株認知度アップ



プロダクトミックスの最適化

1 デザート・パーソナルタイプの商品力強化

ルナ物産 デザートライン新設



2 乳飲料の高付加価値化





機能性食品事業の成長モデル構築

- 1 毎日骨ケアMBP®を軸とした市場拡大
- 2 商品ラインナップの拡大
- 3 マーケティング投資の強化



事業ポートフォリオ変革による収益基盤の強化 [7]



価値訴求による粉乳事業の競争力強化

～ 国内外の拡大展開 ～

海外

- 1 海外粉乳事業としての新たな展開
[妊産婦向け・成人向け粉乳導入拡大]



- 2 海外ブランド統一  MEGMILK SNOW BRAND

国内

- 3 独自性のある育児用粉乳事業推進
[母乳研究継続、Web活用]





種苗事業の戦略的拡大

(牧草・トウモロコシ)

1

飼料作物・野菜・緑肥作物・微生物事業の
伸長による収益性の拡大



チモシー [ホライズン]



エダマメ [夏風香]



緑肥種子 業界No.1

2

新研究棟を利用した競争力のある
新品種・新技術の開発



雪印種苗株式会社
北海道研究農場新研究棟
2017.6月稼動

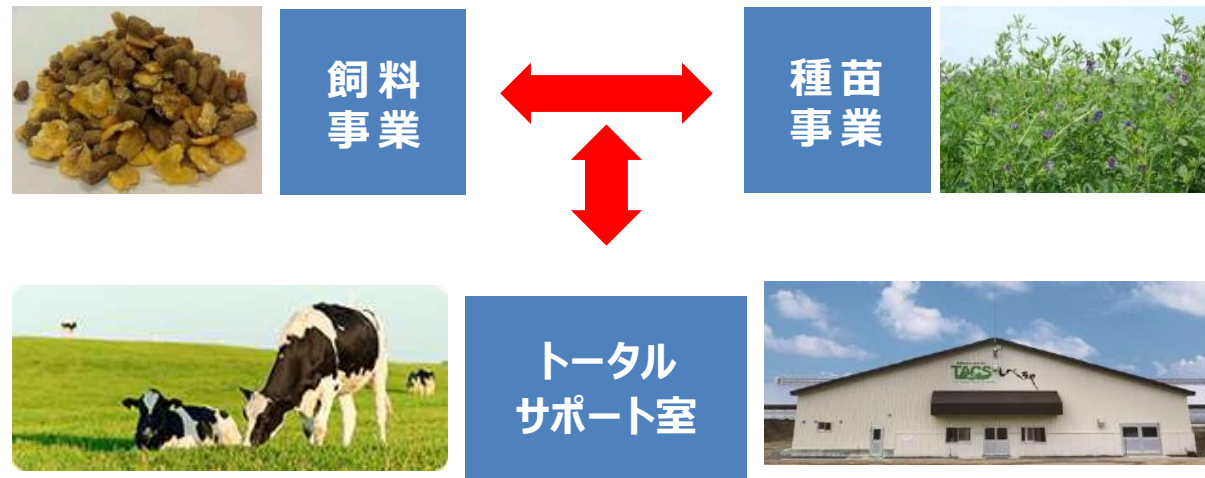
事業ポートフォリオ変革による収益基盤の強化 [9]



飼料事業の収益性向上

1 総合提案型営業の推進

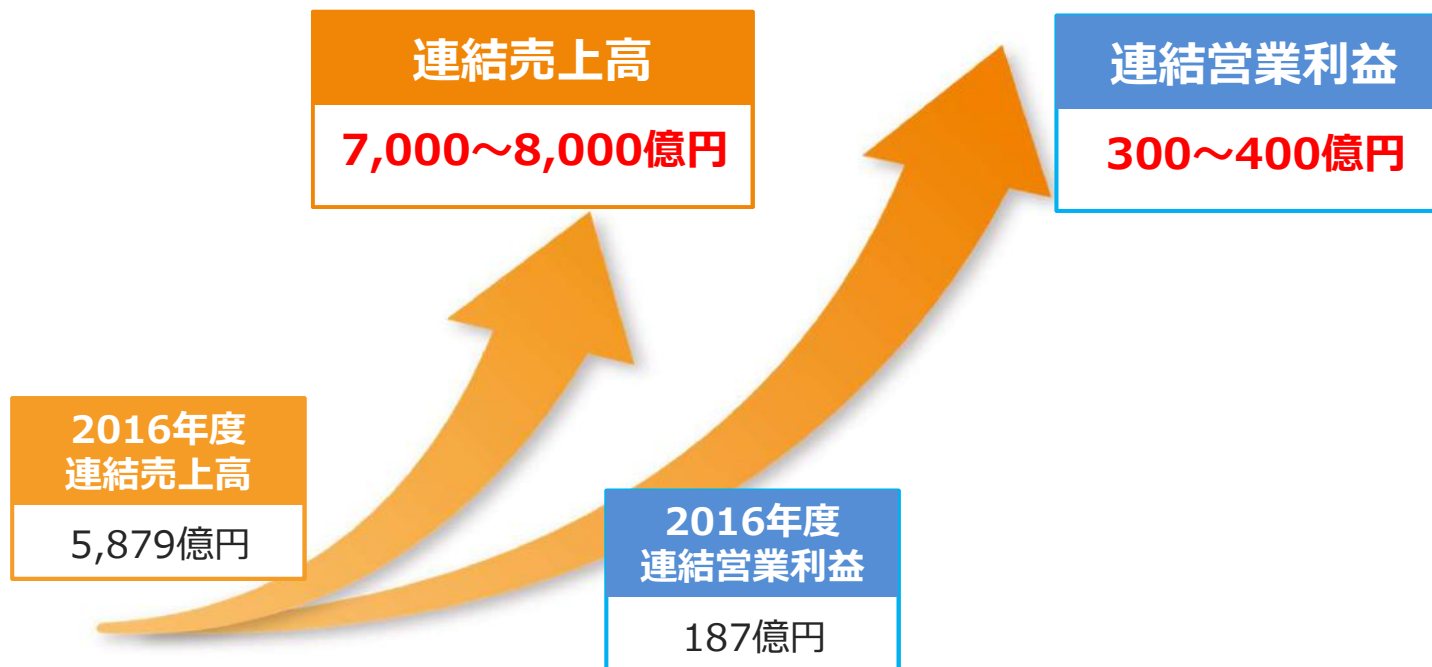
[牧草・飼料などの商材と技術サポートを組み合わせた営業展開]



2 効率的な調達・生産・物流体制の構築

経営指標

2026年度（10年後）のゴールイメージ



財務指標（目処）

連結ROE 8%以上
連結自己資本比率 50%以上 連結配当性向 30%以上

(1) グループ長期ビジョン2026・中期経営計画

(2) 2019年3月期の連結業績結果

(3) 2020年3月期の連結業績予想



2019年3月期連結業績結果

(億円、%)

■ 経営成績 ■	2018年3月期	2019年3月期	増減額	前期比	予想比
売上高	5,961	6,033	+72	101.2	100.4
営業利益	193	172	△21	89.0	98.5
経常利益	209	190	△19	90.6	100.1
純利益※	133	107	△26	80.3	102.4

※親会社株主に帰属する当期純利益

(予想は2019年2月7日決算短信発表時に公表したものの)

■ 配 当 ■

普通配当	40円	連結配当性向	25.2%
------	-----	--------	-------

2019年3月期連結業績結果 ～総括～

取組結果

- 家庭用チーズの価格改定の実施
- 機能性ヨーグルトと機能性食品の販売拡大
- 成長に向けた設備投資の実施

課題

- コストアップへの対応
原料乳価格の引上げ、物流コストなど

(1) グループ長期ビジョン2026・中期経営計画

(2) 2019年3月期の連結業績結果

(3) 2020年3月期の連結業績予想



環境変化への対応

- 市乳商品の価格改定の実施

事業ポートフォリオの変革

- 重点カテゴリーへの取組み強化による販売拡大
- 海外事業の拡大
- ニュートリション事業の拡大
- 生産体制の再構築

2020年3月期 連結業績予想

(億円、%)

■ 経営成績 ■

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高	6,033	6,150	+116	101.9
営業利益	172	180	+7	104.5
経常利益	190	195	+4	102.6
純利益※	107	120	+12	111.6

※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 配 当 ■

普通配当	40円	連結配当性向	22.6%
------	-----	--------	-------

2020年3月期の事業別取組み



1. 乳製品事業分野

バター、油脂、
チーズ（国内・海外）



2. 市乳事業分野

牛乳・乳飲料、ヨーグルト、
果汁・野菜・清涼飲料、
デザート



3. ニュートリション事業分野

粉ミルク（国内・海外）、
機能性食品 など



4. 飼料・種苗事業分野

飼料、
種子（牧草・飼料作物・野菜）、
造園 など

事業別取組み ～2020年3月期業績予想（乳製品）～



2020年3月期 通期業績予想

【乳製品セグメント】 ニュートリション事業を含む

(億円、%)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高	2,410	2,509	+99	104.1
営業利益	117	121	+4	102.9

- ▶ 家庭用チーズの主力商品の販売拡大
- ▶ チーズのボーダレス展開の推進



▶ 家庭用チーズの主力品の販売拡大

6Pチーズ、カマンベール、
さけるチーズなどの販売拡大

→食べ方提案や
店頭プロモーションによる
販売の継続



スライスチーズ、
ベビーチーズなどの
販売強化

→増量キャンペーン、
新商品の導入による
販売強化

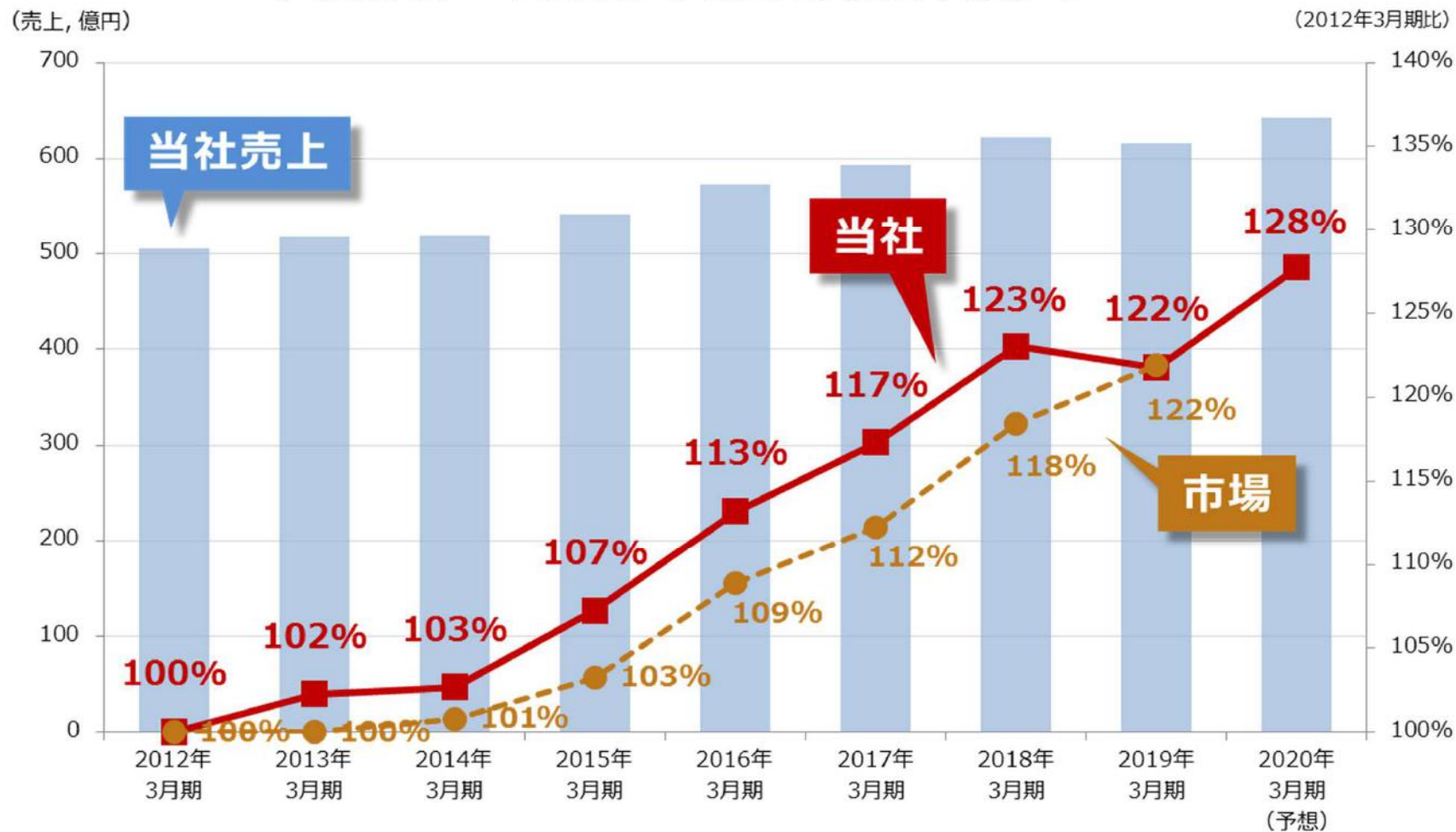


モッツアレラ入りベビーチーズ

事業別取組み ～チーズの伸長～



【 家庭用チーズの売上高および伸長率推移 】



(市場：インテージSCT)



▶ チーズのボーダレス展開の推進

雪印メグミルクインドネシア社
(MSBI)と
アダーデライツオーストラリア社
(UDA)の連結子会社化

雪印メグミルクインドネシア社
による第3国輸出



シンガポール・タイ
・マレーシア



事業別取組み ～2020年3月期業績予想（市乳）～



2020年3月期 通期業績予想

【飲料・デザート類セグメント】

(億円、%)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高	2,797	2,809	+12	100.4
営業利益	31	39	+8	123.1

- ▶ 価格改定の実施：合計79品
- ▶ ヨーグルト：ガセリ菌S P株ヨーグルト商品群の販売拡大
- ▶ デザート：個食デザートの強化



▶ ガセリ菌SP株ヨーグルト商品群の販売拡大

新商品の投入とターゲットを意識した
新しいコミュニケーション売場の連動



新CM投入



香川照之さんを起用

売場で連動



▶ 個食デザート強化

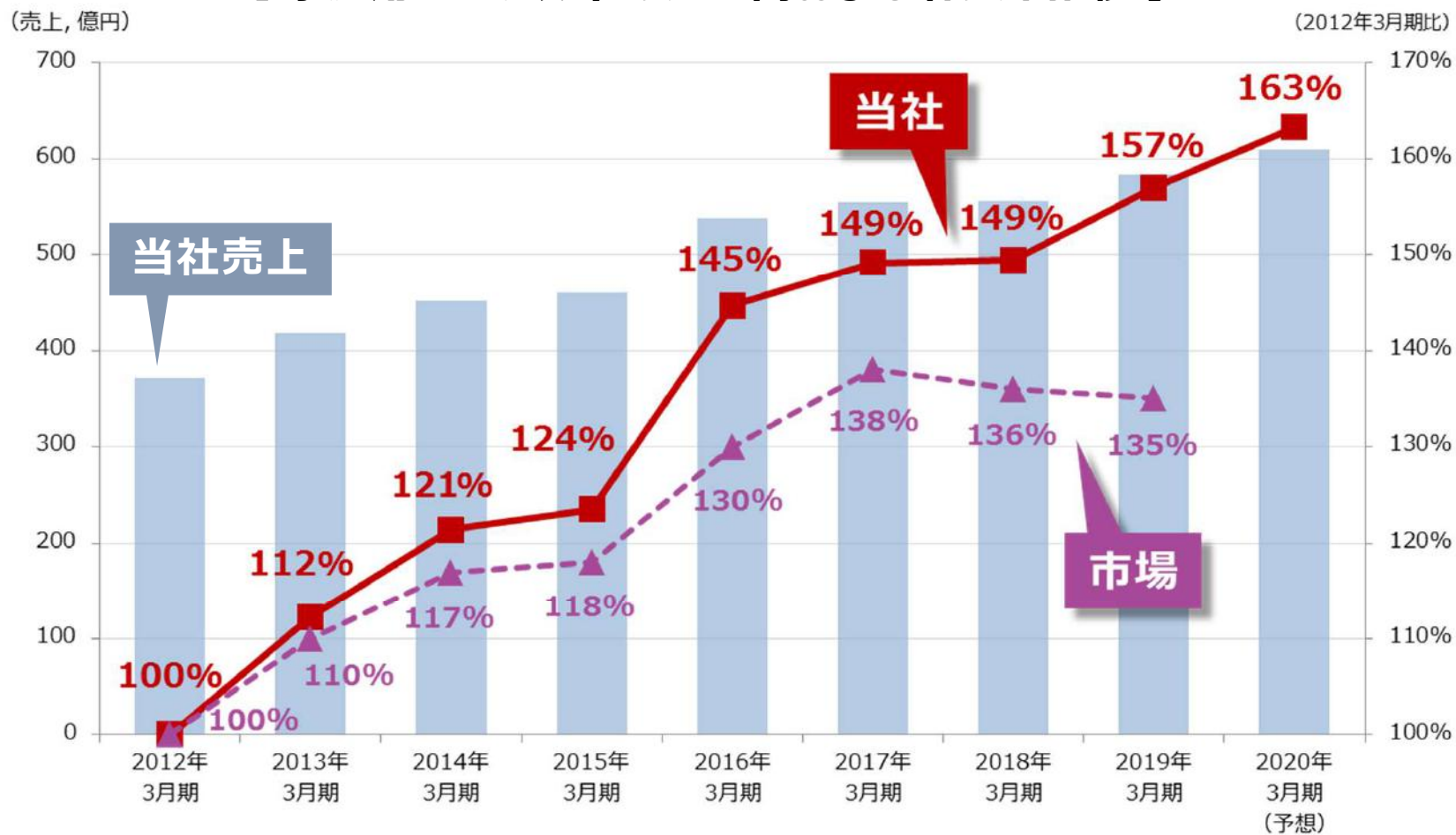
商品力の強化



事業別取組み ~ヨーグルトの伸長~



【 家庭用ヨーグルトの売上高および伸長率推移 】



(市場：インテージSCI)

事業別の取組～主な学会発表と最近の受賞（ガセリ菌）～



市乳

ガセリ菌SP株



【主な学会発表】

- 2012.09.28 内臓脂肪蓄積抑制作用について
- 2012.10.16 歯周病に対する抗炎症作用について
- 2012.10.24 免疫系の活性化とストレス軽減効果について
- 2012.12.05 インフルエンザウィルスに対する感染予防効果について
- 2013.06.05 線虫の寿命延長とその作用機構について
- 2014.10.16 インフルエンザウィルスの感染予防効果メカニズム解明について
- 2015.07.12 ヒト試験で脂質排出作用を確認
- 2016.05.15 エネルギー消費量増加作用を確認
- 2017.04.17 RSウイルス感染防御効果を確認

【最近の受賞内容】

2018.5.11 日本栄養・食糧学会「技術賞」受賞

＜受賞内容＞ ガセリ菌SP株の内臓脂肪の蓄積抑制に関する研究と
インフルエンザウィルスに対する感染防御作用の研究成果

2018.11.15 日本食品免疫学会「食品免疫産業賞」受賞

＜受賞内容＞ 免疫調節機能に関する研究と脂質代謝に関する研究成果の商品化



▶ 名古屋工場と豊橋工場の統合による生産体制の効率化

生産体制構築による競争基盤の確保

経営資源
の集中

+

高い
生産性の
実現

当社市乳事業の効率的な生産体制の構築



豊橋工場外観

事業別取組み ～2020年3月期業績予想（ニュートリション）～



2020年3月期 通期業績予想

【ニュートリション事業分野】

(億円、%)

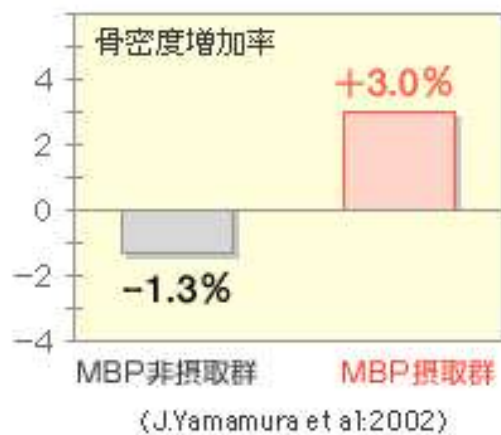
	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高	194	201	+7	103.3
(内訳)				
機能性食品	47	53	+6	111.0
粉ミルク等	146	148	+2	100.8

- ▶ **機能性食品**：シニア向けロコモ※市場での販売拡大と利益貢献
- ▶ **粉ミルク等**：母乳研究を活かした商品力強化

※「ロコモティブシンドローム」(略称:ロコモ):運動器の障害により、歩行や日常生活に支障のある状態。

事業別の取組 ～機能性食品（ニュートリション）～

➤ 「毎日骨ケアMBP®」のご紹介



「MBP®」は骨密度を高める働きがあります。骨密度を高めるには、カルシウムの他にMBP®（乳塩基性タンパク質）と呼ばれる成分が効果があることが解明されました。



牛乳約800ml分のMBP®

「毎日骨ケアMBP®」には牛乳約800ml分のMBP®が入っています。



▶ シニア向けロコモ市場での販売拡大

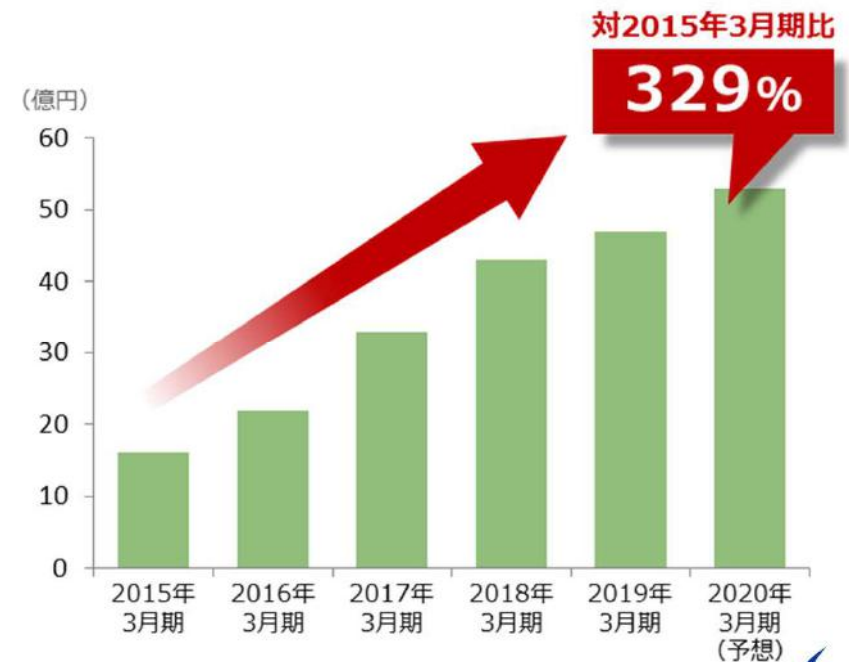
ラインナップを強化したロコモ（骨・筋肉・関節）
関連商品での販売拡大

子会社化した
ベルネージュダイレクトとの
連携強化

→プロモーション・CRM・
フルフィルメントの効率化をはかる



【機能性食品の当社売上推移】



事業別取組み ～2020年3月期業績予想（飼料・種苗）～



2020年3月期 通期業績予想

【飼料・種苗セグメント】

(億円、%)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	前期比
売上高	460	452	△8	98.2
営業利益	11	9	△2	77.3

- ▶ 飼料事業：総合提案型営業と効率化による収益力強化
- ▶ 種苗事業：自社開発商品による販売拡大



▶ 酪農・畜産分野における生産性改革の取組み

ホクレンくみあい飼料株式会社と雪印種苗株式会社による
合併会社設立と新工場建設

合併によるスケールメリットと
最新鋭の製造設備の活用



4 CSR経営



SDGsは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の頭文字で表した、貧困・飢餓や男女不平等などの課題を解決するために2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための国際目標です。“世界中で2030年までに貧困に終止符を打ち、持続可能な未来を追求しよう”とのスローガンの下、17のゴールと169のターゲットを定めています。

持続的成長に向けた取組み

CSR領域	CSR重要課題 (マテリアリティ)	対象SDGs
食と健康	乳（ミルク）による食と健康への貢献	    
酪農	持続可能な酪農への貢献	    
環境	環境負荷の低減	     
人と社会	多様な人材が活躍できる職場の実現	    
	地域社会への貢献	    



未来は、ミルクの中にある。
雪印メグミルク

「ミルク未来創造企業」へ



未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。

補足資料① 用語説明

用語	説明
セイニユウ 生乳	牛乳や乳製品の原料
シニユウ 市乳	飲料やヨーグルトを含む飲料・デザート類 セグメントを事業分野ではこの表現で統一
ニュートリション	「栄養物の摂取」「栄養作用」「栄養学」などを 意味する。健康維持・増進などの下支えに貢献し、 暮らしにサポートする事業名とした
雪印メグミルクバリュー	グループ役職員一人ひとりが、 大切に考える共通の姿勢・価値観
トランスフォーメーション アンド リニューアル Transformation & Renewal	「変革」、そして更なる「進化」へ
事業ポートフォリオ	持続的な成長を可能とするため、複数の事業が利 益を創出できる、事業の組み合わせ
プロダクトミックス	企業あるいは事業単位によって 生産・販売される商品の構成

補足資料② 用語説明

用語	説明
チーズのボーダレス展開	チーズを国内にとどまらず、海外にも展開させていくこと
機能性ヨーグルト	ガセリ菌S P株など機能性乳酸菌を添加したヨーグルト。プロバイオティクスヨーグルトと同義
タックス TACSしべちゃ	雪印種苗(株)が標茶町農業協同組合様、標茶町様の取組みに賛同し、設立した農業生産法人。 低コスト型の経営を目指すと共に実践内容を積極的に地域に普及させることに取り組む
バリューチェーン	研究開発、調達、製造、流通、販売など顧客に価値が届けられるまでに企業間で付加される価値のつながりのこと
アールオーイー ROE	純利益／自己資本（自己資本利益率） 自己資本を「元手」として、1年間でどれだけの利益をあげたか、収益性を測る指標の一つ